

相模原インターチェンジ周辺新拠点まちづくり事業の概要

1 これまでの経過

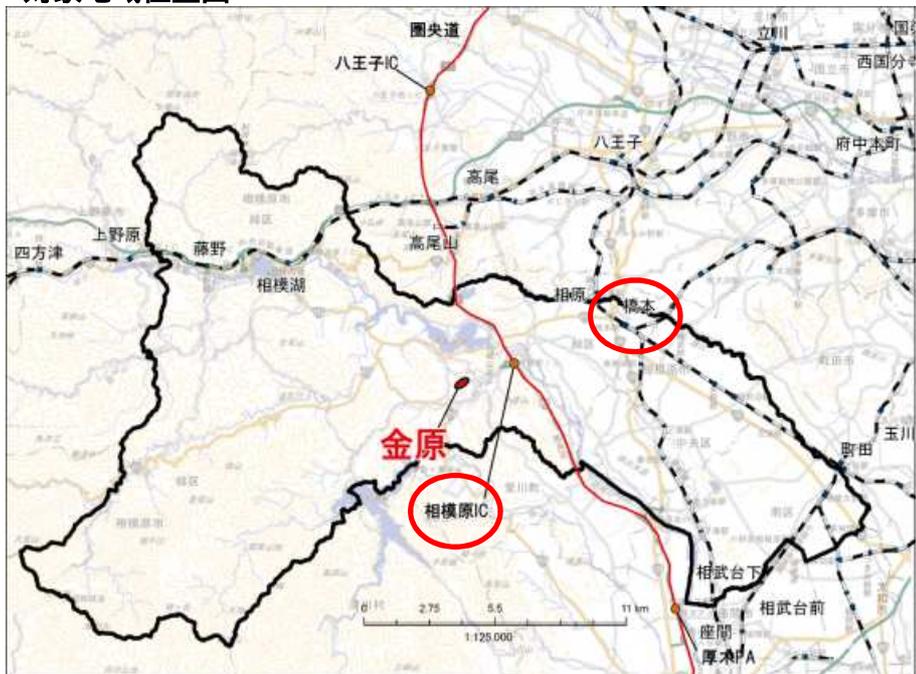
圏央道相模原インターチェンジは、橋本駅から約5 kmの位置にあります。その相模原インターチェンジに近接する金原地区では、交通便利性の向上を契機として、地域コミュニティの維持・活性化等を図るため、周辺地区の立地特性を生かした新たな拠点の形成に向けた検討を行っています。

平成29年5月には、地域資源である「農業」「観光」「交通」の3点を軸とした「相模原インターチェンジ周辺新拠点まちづくり推進計画(金原地区)(以下「推進計画」という。)」を策定しました。

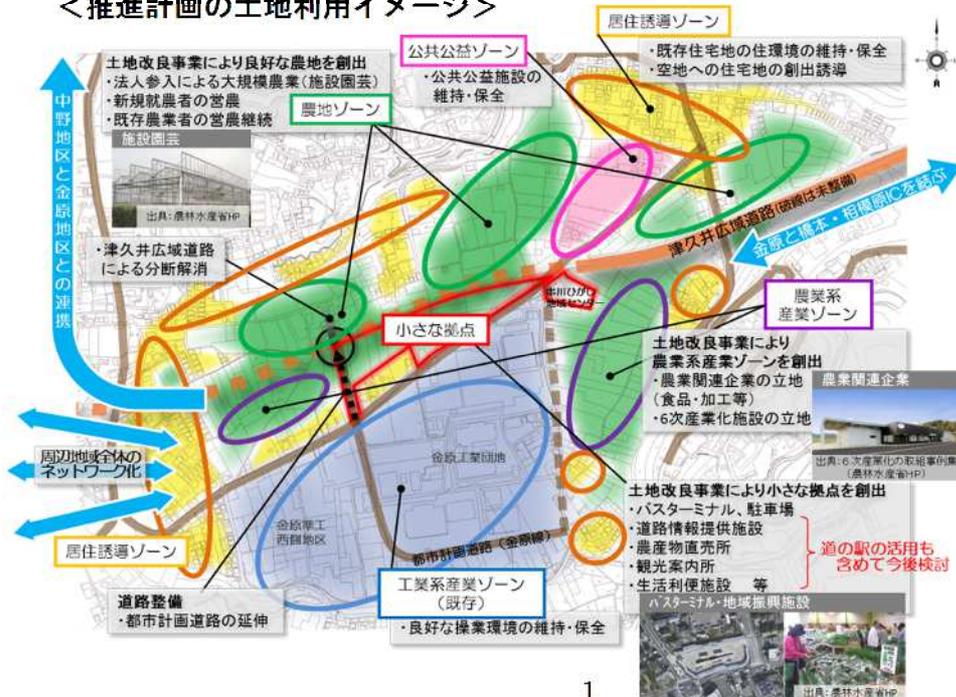
推進計画は、市HP参照

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/machitsukuri/toshikeikaku/1004700.html>

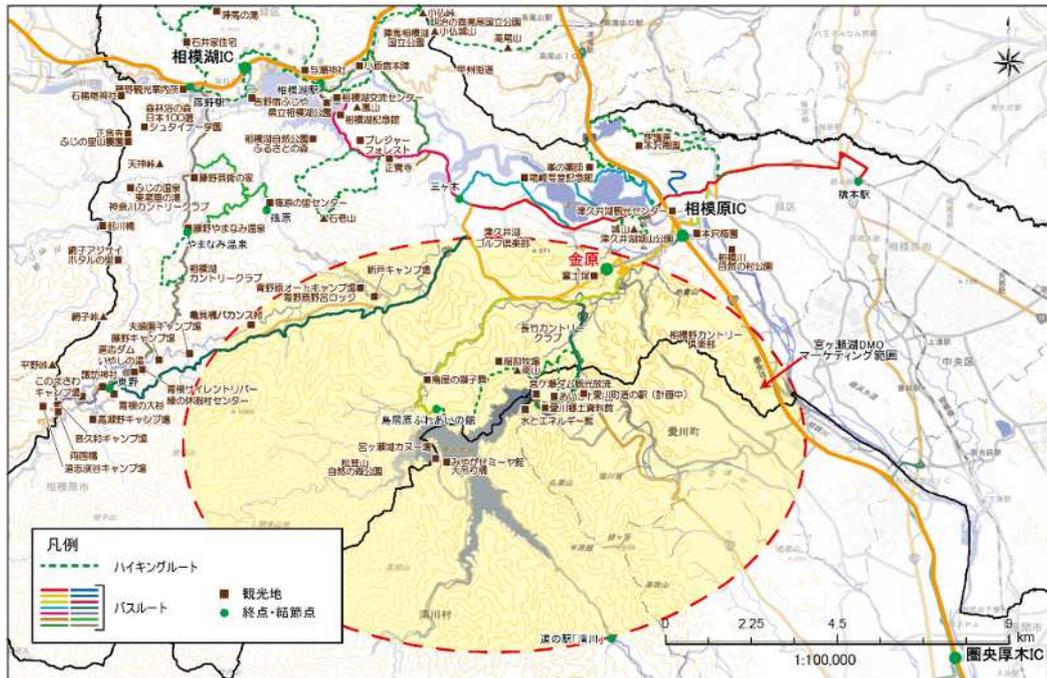
<対象地域位置図>



<推進計画の土地利用イメージ>



< 周辺観光資源の状況 >



< 周辺地域の今後の動向 >

2020年東京オリンピック競技大会

- ・自転車ロードレース競技のコースが市内緑区を通ることが決定

リニア中央新幹線

- ・神奈川県駅（仮称）が橋本駅付近に、関東車両基地が鳥屋付近に建設される予定

2 現在の検討状況

現在は、推進計画に基づき、地域住民及び各種関係団体で組織する「串川地域小さな拠点活用検討協議会」、「津久井都市農村交流協議会」において、小さな拠点に必要なとされる導入施設や、整備・運営手法等、まちづくりの具体化に向けた検討を行っています。

<現在の検討状況に基づく主な導入施設（案）>

| | | |
|------------|--|-------------------------|
| 主な 導入施設 | 地域交流施設 | 約 2,000 m ² |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物直売所 ・ 物産品販売所 ・ 加工施設 ・ 農家レストラン・カフェ ・ 会議室・研修室 ・ 観光案内所・情報提供施設 ・ 自転車振興施設（更衣室、シャワーなど） ・ 管理事務室・地域防災施設 など | |
| | 地域コミュニティ施設（既存施設） | 約 350 m ² |
| | 生活利便施設（コンビニ、ガソリンスタンドなど） | 約 1,600 m ² |
| | 多目的広場 | 約 1,300 m ² |
| | トイレ | 約 120 m ² |
| | 駐車場 | 約 14,000 m ² |
| | 小型車 | 約 160 台 |
| | 大型車 | 約 40 台 |
| バスターミナル | 規模等調整中 | |

現時点の案であり、今後の検討により変更が生じる可能性があります。

3 今後の事業スケジュール（予定）

平成 30 年度 サウンディング調査

平成 31 年度 事業詳細計画の策定

平成 32 年度 事業者選定準備

現時点での予定であり、今後の検討により変更が生じる可能性があります。

また、土地利用に向けては農地法等の各種法令の調整が必要となるため、各種法令の調整状況により、変更が生じる可能性があります。